



2022年11月11日

各 位

会社名 日産化学株式会社  
代表者名 取締役社長 八木 晋介  
(コード番号4021 東証プライム)  
問合せ先 常務理事 財務部長 有田 信浩  
(TEL 03-4463-8401)

業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2023年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせします。

また、2022年11月10日開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）を決議するとともに、2023年3月期の期末配当予想を修正いたしましたので、合わせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2022年8月8日発表)	223,300	55,100	57,300	41,700	295円83銭
今回発表予想 (B)	234,200	55,500	58,300	42,100	298円59銭
増減額 (B-A)	10,900	400	1,000	400	2円76銭
増減率 (%)	4.9%	0.7%	1.7%	1.0%	0.9%
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	207,972	50,959	53,690	38,776	271円88銭

## (2) 2023年3月期 通期部門別連結売上高および営業利益予想数値の修正

(単位：億円)

		前回発表予想	今回発表予想	増減
売上高	化学品	388	424	36
	機能性材料	889	892	3
	農業化学品	754	792	38
	ヘルスケア	60	66	6
	卸売	877	957	80
	その他	269	280	11
	調整額	△1,004	△1,069	△65
	計	2,233	2,342	109
営業利益	化学品	23	25	2
	機能性材料	302	303	1
	農業化学品	206	219	13
	ヘルスケア	23	28	5
	卸売	27	28	1
	その他	7	10	3
	調整額	△37	△58	△21
	計	551	555	4

## (3) 修正の理由

通期の業績予想につきまして、上半期の実績および下半期の見通しを踏まえ、前回発表予想を修正いたします。売上高、各利益につきましては、半導体材料製品やフルララネル（動物用医薬品原薬）が引き続き好調に推移する見通しであることから、前回発表予想値を上回る見込みです。

## 2. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正について

### (1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	前回配当予想 (2022年8月8日発表)	前期実績 (2022年3月期 中間)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	70円00銭	同左	50円00銭
配当金総額	9,876百万円	-	7,127百万円
効力発生日	2022年12月5日	-	2021年12月6日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

### (2) 期末配当予想の修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (2022年8月8日発表)		92円00銭	162円00銭
今回修正予想		94円00銭	164円00銭
当期実績	70円00銭		
前期実績 (2022年3月期)	50円00銭	72円00銭	122円00銭

### (3) 修正の理由

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで企業価値の向上に努め、株主の皆様への積極的な還元を図ってまいります。なお、株主還元につきましては、2022年4月に始動した中期経営計画「Vista2027」において、2022年度以降は配当性向を55%、総還元性向を75%とすることを目標としております。

上記方針および業績予想の修正を踏まえ、期末配当予想を1株当たり92円から2円増額し94円といたします。これにより、年間配当は1株当たり164円（配当性向54.9%）となる見込みです。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上